～欣浄寺法語メール～２０１８年１１月～

「表白（ひょうびゃく）・・・住職」

　法要の余韻が続いています。今月は午後お勤めしました親鸞聖人７５０回大遠忌法要の表白をお送りします。言葉に込めた思いを受けとめていただければ幸いです。

　『敬って大慈大悲の阿弥陀如来並びに宗祖親鸞聖人の御前に申し上げます。

　本日ここに十三日講ご寺院・ご縁深きご法中の参集を得て、門信徒の皆さまと共に修復されましたお内陣を荘厳し懇ろに「正信偈」を読誦して、大法山欣浄寺親鸞聖人七五〇回大遠忌法要をお勤めいたします。

　親鸞聖人は 仏説無量寿経讃仏偈にお示しの『窮深尽奥　究其涯底』「いかなることも底の底　奥の奥まで見きわめ」『一切恐懼　為

作大安』「全ての恐れおののく者に大安心を与えたい」との阿弥陀さまのご本願を依りどころとして生き抜かれました。そのご生涯がこの度の法要を機縁に修復された「宗祖御絵伝」に明かに示されています。

当山欣浄寺は開基五百年を迎えました。このお御堂で親鸞聖人をみ跡を慕いお念仏を喜ばれた先人のおもかげが偲ばれます。今はお浄土から南無阿弥陀仏となって、つねにはたらきかけていてくださいます。

本日親鸞聖人七百五十回大遠忌法要の法縁に遇う私たちは、あらゆるいのちが相い依り支え合っているという縁起の道理を受けとめ、恵まれたいのちの大切さをかみしめて歩んでまいります。

ここに大法山欣浄寺住職釋淳成、謹んで申

し上げます』

・・・欣浄寺行事のご案内・・・

報恩講　11 月 25 日(日)午後２時逮夜法要午後７時初夜法要　26 日（月）午前 10 時満日中法要・おとき接待　※25 日午後４時と午後７時３０分　法要ビデオ上映